



## opinion 地域の課題解決に貢献できる組織づくりに取り組む

**山**組合は、昭和58年9月に一般廃棄物と産業廃棄物の収集運搬を**三**行っている事業者17社により設立され、今年で36年目を迎えます。設立から暫くは、廃棄物収集運搬の共同受注を中心に、作業車両の共同整備、車庫や給油所等の共同施設の設置、車両・燃料・タイヤなどの共同購入など多くの事業に取り組んできました。その後、転業や廃業による組合員の減少に伴い、現在では、家庭用特定家電の引き取りや粗大ごみの処理、引っ越しに伴う不用品や残置物の処理などの共同受注を中心に活動しています。

行政からの依頼で向かう収集先には、高齢者や障がいのある方、車を所有していない方や一人暮らしの方など、自身でごみの処分を行うのが困難な世帯が増えています。

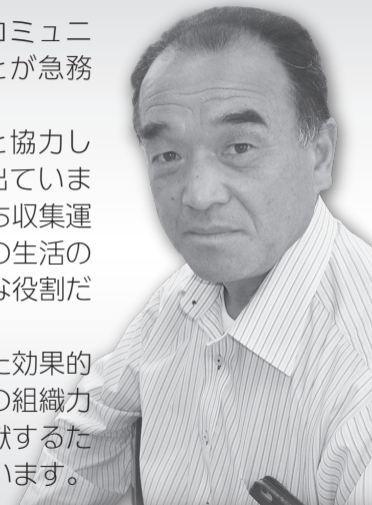
ごみ処理は法令を遵守した適正な処理が求められていますが、そのためにはそれなりの費用が掛かるため、年金で生活を支えている高齢者の中には負担が大きく、処理の見積を見て依頼を諦める方も多くいます。

高齢化が進む日本では、今後さらにごみ出しが困難な世帯が増えてく

ることは間違いなく、行政と事業者が地域コミュニティと連動した支援サービスを確立することが急務だと感じています。

県内各地でごみ処理費用の補助や自治体と協力したごみ出し支援制度の導入をする市町村も出ています。実際の処理業務で地域住民と接する私たち収集運搬事業者が、行政に現場の声を伝え地域住民の生活の維持に寄与していくことが、これからの重要な役割だと考えています。

今後、自治体や地域コミュニティと連携した効果的な対策を積極的に提案していくために、組合の組織力と信用力を高め、地域の課題解決の一助に貢献するための組織づくりを目指していきたいと考えています。



甲府市廃棄物協同組合 理事長 三枝 由則 氏